輝き人生（ライフ）

このコーナーではきらりと輝きながら活躍する市民を紹介します。

0.01秒でも早く ゴールを駆け抜けたい！

中山（なかやま） 智貴（ともき）さん（みずきが丘）

▶躍動感ある走りのフォームで、100mを全力で走り抜く中山さん

「100mを無心で走り抜き、ゴールした瞬間に観客や仲間からの湧き上がる歓声に包まれるのが何よりうれしいです」と話してくれるのは、中部中学校3年で陸上部に所属する中山智貴さん。今年7月に開催された三重県中学校選抜陸上競技大会では、男子100m決勝で10秒62をマークし、現役中学生では全国1位の記録（中学生歴代記録では2位）で見事優勝し、全日本中学校陸上競技選手権大会への出場を果たしました。そのときは自分でも信じられなかったと喜びを明かしながらも、まだまだ0.01秒でも記録を更新したいと、あくなき向上心で練習に励む中山さん。これからも、さらなる高みを目指して、チャレンジは続きます。

ー陸上を始めたきっかけは？

「卒業目前の小学6年生のときに、中部中学校の陸上部の先生に偶然出会い、『陸上をしないか？』と声を掛けていただいたのがきっかけです。それから本格的に陸上を始め、今ではすっかり夢中になっているので、陸上にめぐり合わせてくれた先生に感謝しています。」

ー記録的なタイムが出せたのは？

「腰を痛めて走ることができなかった期間（3カ月間）に、体幹（胴体の中心部全体）を鍛えるトレーニングにしっかり取り組んだことがタイムに影響していると思います。また、他校のライバル選手には絶対に負けたくないという思い、毎日の練習で切磋琢磨し合える部活仲間の存在、先生の適切な指導や家族の応援などが支えとなり、思い切った走りができたと考えます。」

ー陸上の魅力は？

「練習を積み重ねれば、記録が伸びていくのを実感できるのが楽しいです。ときには記録が伸びず悩むこともありますが、練習内容を見直したり、さまざまな人にアドバイスを受けたりして、試行錯誤しながらも少しでも改善できたときはとても充実した気分になります。」

ーこれからは？

「直近の目標は、高校に進学してインターハイ（全国高等学校総合体育大会）に出場し、優勝することです。また、令和3年には、三重県で国民体育大会（三重とこわか国体）が開催されるので、地元主催の大きな大会で、良い記録を残したいと思います。そのためにも、目標とするタイムや理想とする走りのフォームに少しでも近づけるよう、日々練習に取り組んでいきたいと考えます。」

全国少年消防クラブ交流大会へ参加！

問合先 消防本部予防課予防グループ（☎82ー9492）

亀山市少年消防クラブが7月31日から8月2日までの3日間、徳島県で開催された全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。

今大会には全国から53クラブ、364名の少年消防クラブ員が参加しました。

参加した子どもたちは、ロープを使った結索（けっさく）や消防ホースの延長など、消防の実践的な活動を取り入れた競技形式の合同訓練や、避難所体験などを通じて災害への備えについて学んできました。

亀山市少年消防クラブとは

平成24年4月に消防・防災に関する正しい知識と技能を身に付け、生命と暮らしを守ることの大切さを学ぶとともに、規律や防火マナーなどを身に付けることを目的とし設立されました。

亀山市消防本部の指導のもと、礼式訓練や水防訓練、救助訓練、防災キャンプ、着衣泳などの活動を行っています。